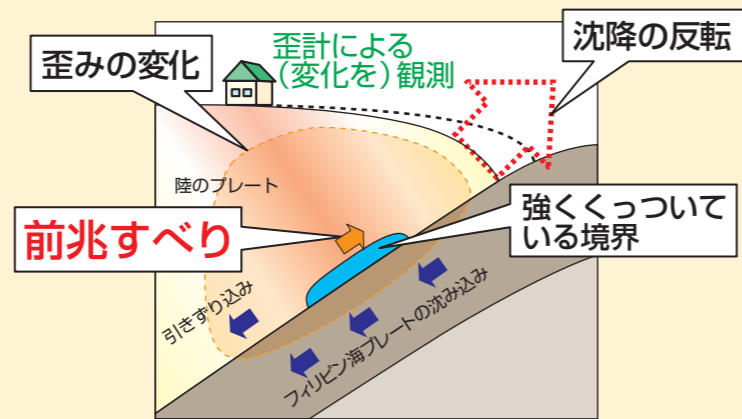


前兆すべりとは？

東海地震はプレート（地球表面を覆う厚さ数十～百キロメートル程度の岩石の層）の境界で起こる地震です。プレート境界は普段は強くくっついています。しかし、東海地震の前には少しずつすべり始め、最終的に大きくずれて東海地震となる、と最新の地震学では考えられています。この前兆的なすべり現象が前兆すべりです。

前兆すべりを捉えようと、歪計等の観測測器を東海地域に展開し、気象庁において24時間監視しています。

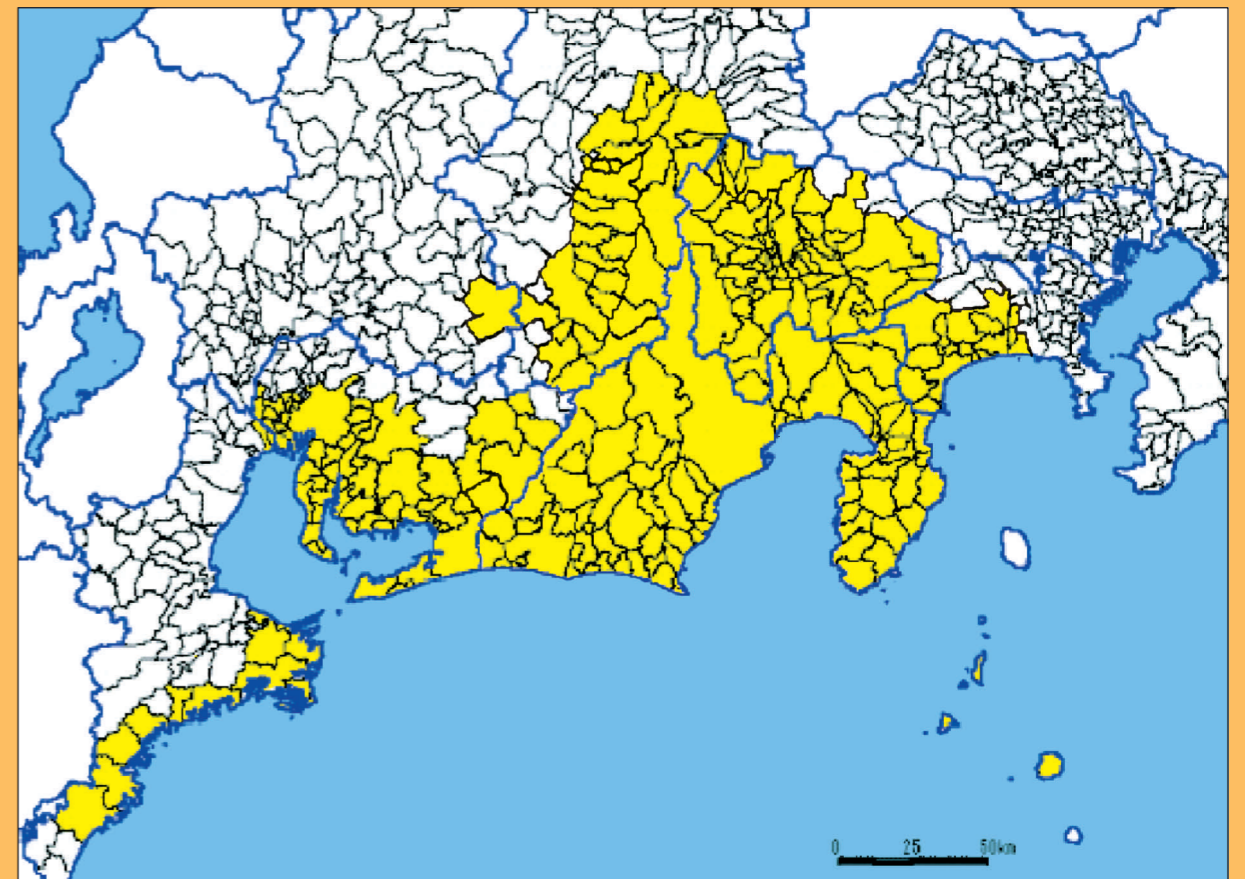


「東海地震に関連する情報」の発表基準・解除基準は？

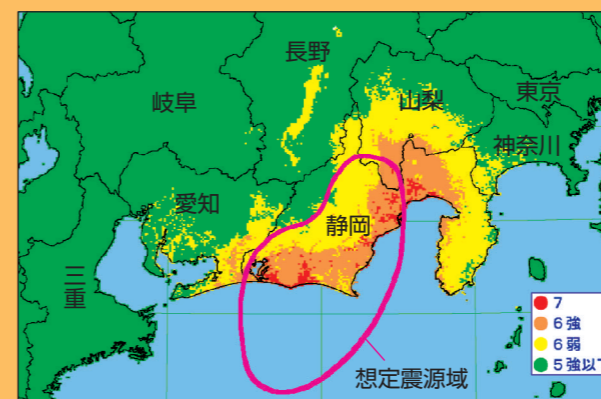
	発表基準	解除基準
東海地震観測情報	東海地震の前兆現象について直ちに評価できない場合 (少なくとも[1力所]の歪計で有意な変化が観測された場合等、または、顕著な地震活動が発生した場合であっても東海地震との関連性について直ちに評価できない場合等。)	①東海地震発生のおそれなくなったと認められた場合 ②発生した地震が直ちに東海地震に関連性がないと判断できる場合、安心情報である旨を明記して発表。 (全ての歪計の変化が収まる等、前兆すべりの可能性がなくなったと認められた場合等、または、地震は発生しているが地殻変動が観測されておらず、地震活動が収まる傾向であることが認められた場合等。)
東海地震注意情報	東海地震の前兆現象である可能性が高まったと認められた場合 ([2力所]の歪計で有意な変化が観測された場合であって、前兆すべりによるものである可能性が高まった場合等。)	東海地震発生のおそれなくなったと認められた場合、その旨を発表。 (全ての歪計の変化が収まる等、前兆すべりの可能性がなくなったと認められた場合等。)
東海地震予知情報	東海地震が発生するおそれがあると認められた場合 ([3力所以上]の歪計で有意な変化が観測された場合であって、前兆すべりによるものと認められた場合等。)	

東海地震の予知と防災対応

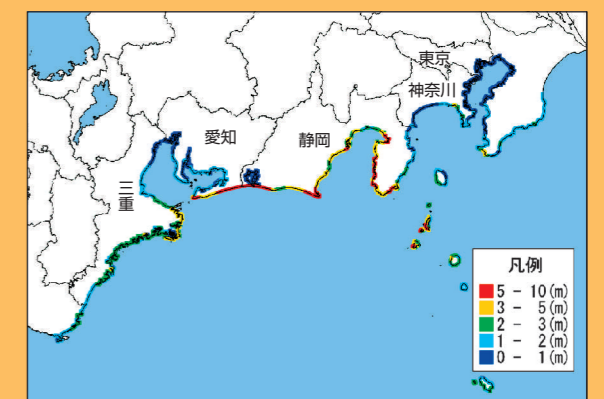
－「東海地震に関連する情報」を正しく活用していただくために－



東海地震に係る地震防災対策強化地域



「東海地震の想定震源域」と「想定される震度分布」



想定される海岸における津波高さの分布

東海地震が発生した場合、地震の揺れや津波等により、建物全壊約26万棟、死者数約9,200人という甚大な被害が予想されるため、日頃からの十分な備えが必要です。

お問い合わせ先

内閣府: 〒100-8969 東京都千代田区霞が関1-2-2 TEL.03-5253-2111 (代)

ホームページ <http://www.bousai.go.jp>

気象庁 地震火山部 地震予知情報課:

〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4 TEL.03-3212-8341 (代) (内線4562)

ホームページ <http://www.jma.go.jp>